

5. 汚れの付着状態の顕微鏡的観察

千葉大教育 ○市原 栄子
松本 芳枝

1. 人工汚染布上のカーボンブラックの付着状態、並びにこれらの水およびせっけん水に対する挙動を把握し、人工汚染布による洗浄試験に対する考察の手がかりを得ようとした。

2. 下記の如き顕微鏡写真を撮影した。

- a. 標準もめん人工汚染布の側面及び断面に於ける汚れの付着状態
 - b. 水及びせっけん水に対する人工汚染布上のカーボンブラックの挙動
 - c. 水及びせっけん水分散媒による汚れの各種繊維に対する沈着現象
3. a. もめん人工汚染布上の汚れの付着状態についていえば、側面に於て大小様々な粒子を、断面に於ては、それらが繊維束の表面に均一に付着しているのを見ることが出来る。
- b. 純水或いはせっけん水に対する人工汚染布上のカーボンブラックの挙動はかなり対照的であり、純水の場合はカーボンブラックの離脱は殆んど行なわれないのに比べて、せっけん水の場合は、汚れの分散離脱ならびに繊維の膨潤が明らかである。
 - c. 水およびせっけん水分散媒による各種繊維に対する汚れの沈着状態を比較すれば、水分散媒による沈着現象が顕著である。